

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和2年9月発行

広尾っ子応援団だより (No.27)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



広尾っ子応援団が広尾町の重点施策に!!

来年度からの10年間の町の施策をまとめた「第6次まちづくり推進総合計画」が公表され、広尾っ子応援団本部が実施してきた「応援メッセージ」や「放課後読書等ふれあい広場」などの取組が、前期5年間の重点プロジェクトの1つに取り上げられることがわかりました。

〇自分大好きプロジェクト・・・関わり、交わり、認めて、育てる、地域の宝

「自分大好きプロジェクト」と名付けられた計画では、「自己肯定感の育成」「地元への関心・郷土愛の醸成」「学校・家庭・地域の連携協力」を課題に挙げ、「応援メッセージ」や「放課後読書等ふれあい広場」の取組を一層充実させることにしています。

重点プロジェクトは、広尾町として来年度からの5年間で集中的・分野横断的に推進されることから、これを機に、広尾っ子応援団本部の取組は各分野の垣根を越えて、全町的なものへと拡充されます。

皆様の一層の協力をお願いします！

① 広尾の魅力発信プロジェクト

“広尾の魅力や情報が集まる拠点の創出”

② 「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト

“新たな魅力の創出と今あるものの魅力の再発見”

③ 「サンタランド」の魅力向上プロジェクト

“ここにしかない「サンタランド」の魅力に磨きをかける”

④ ひろお子育て力向上プロジェクト

“地域のみんながお父さん、お母さん”

⑤ 自分大好きプロジェクト

“関わり、交わり、認めて、育てる、地域の宝”

⑥ 「賑わいと健康」創出プロジェクト

“豊かな自然の中で、健康増進と体験型観光を楽しむ！”

⑦ 買い物利便性向上プロジェクト

“誰もが町内で買い物しやすい環境をつくる”

⑧ 空き家再生プロジェクト

“空き家を徹底的に活用し、人が集まる場をつくる”

7つの重点プロジェクト（詳しくは広尾町公式ウェブサイトで）

【解説】広尾っ子応援団の誕生と活動

平成31年1月、コミュニティ・スクール制度導入と同時に「広尾っ子応援団本部」が設置され「応援団員」の募集を始めました。現在74名が登録しています。

応援団員には、「広尾っ子のよさ」にかかわって、気付いたことや激励の言葉などを届けていただくことと、学校から出される支援要望に、協力が可能なものがあればお手伝いただくことの2つをお願いしています。

広尾っ子応援団の取組は「広尾っ子応援団だより」で紹介しており、応援団員にはメールや郵便で届けています。（詳しくは広尾町公式ウェブサイトに掲載）

応援メッセージ

みんな元気で仲よく楽しく暮らそう

みんなで挑戦しよう！



9月4日 町内 60代 男性

重点教材の授業紹介

各学校は、学校運営協議会で承認された教育課程を確実に実施するため、重点教材を定めて実践しています。

楽古川の水質は？（広尾中3年理科）

理科では、自然環境保全と科学技術の利用の在り方について学びます。

三宅先生は、生徒に楽古川の水質を調べさせ、環境保全を身近な問題として考えられるようにしました。また、学んだことをグループでまとめる時間を取り、「互助の精神」を育てようとしていました。



北海道の特色は？（広尾中2年社会科）

社会科では、北海道の産業や人々の生活などについて、自然環境とのかかわりを踏まえながら6時間かけて学習することになっています。

乙井先生は、北海道の地理的条件を復習させ、次の時間から本格的に始まる探究的な学習活動の基礎づくりをしました。



頑張る広尾っ子に応援メッセージを！！

短い夏休みが終わり、先生も子どもたちもマスク姿でコロナ禍下の「新しい学校生活」を模索しています。

地域の皆様には、子どもたちのよさを認め、心を育てる「応援メッセージ」の活動に協力をお願いいたします。

職員室廊下に掲示されている応援メッセージ（広尾小のCSコーナー）

